



公立西知多総合病院だより

第17号(10~12月号)

9/5 開催 初秋の歌声コンサートの様子



令和時代の医療安全／副院長…P1

臨床工学科の紹介／臨床工学技士…P2

消化器内科 再始動しました／消化器内科部長…P3、P4

内視鏡センターってどんなところ

／内視鏡センター看護師…P5

手術看護について／手術看護認定看護師…P6

令和時代の医療安全

副院長 医療品質管理センター長 前田雅彦



令和の最初の夏は、梅雨が長く続き明けるとすぐ連日の猛暑となり、体調を崩された多数の熱中症患者さんが病院へ搬送されました。報道では、初夏のパリの気温が(例年 20 度台と快適で過ごしやすいのに)、今年は 6 月に 41 度を超え、平均気温を 15 度も上回り花も枯れるほどの酷暑とのこと。化石燃料を用いた産業の進歩に伴う地球温暖化と異常気象による、人への健康被害が今後も危惧されます。

医学は 20 世紀末に飛躍的な進歩を遂げました。この流れの中で、米国では 1990 年代に医療紛争が多発して、米国医学院は 1999 年に「人は誰でも間違える；より安全な医療システムをめざして」を発表しました。日本国内では 1999 年発生した重大医療事故をきっかけに医療紛争が増加し医療崩壊が生じました。それまでは医療成績(例えば手術後の生存率など)の改善を中心でしたが、患者安全が重大な危機にさらされていることが明らかになり、2001 年医療法が改正され「医療の安全の確保」がうたわれました。以後、医療安全活動が本格化され約 20 年経過しています。

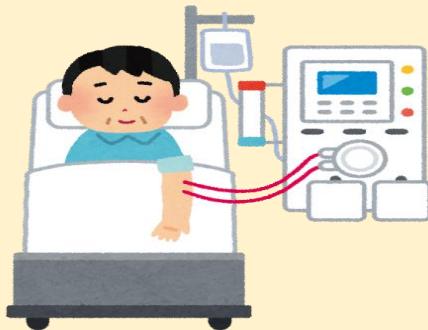
現在、医療者には根拠に基づく医療が求められ、また病院ではダブルチェックや指さし呼称などによるミス防止が実践され、インシデント(事故につながりかねない出来事・事象のこと)報告制度も確立しました。これは報告を通じて原因を究明し、手順を改善し再発防止に役立てるものです。また、産業界の「KAIZEN」は現在「TQM」(総合的品質管理)として発展し、今では医療界にも浸透し、患者安全の医療にも必要と考えられています。これは、職員全員で医療の質を継続的に向上(改善)させるための考え方や手法です。

令和時代も、医療は AI を用いて進歩しますが、そこには人の関わり方が大切と思われます。患者中心の医療を推進し、今まで以上に「良質で安心安全な医療」を提供できる病院になるよう尽力させていただきます。



臨床工学科の紹介

臨床工学科 臨床工学技士 高橋和夫



臨床工学科では、国家資格である臨床工学技士が9名で働いています。

臨床工学技士とは、医療機器のスペシャリストであり、主に生命維持管理装置（血液浄化装置、人工呼吸器、補助循環装置、除細動器、閉鎖式保育器等）の操作および保守点検を行う職種です。

医療機器管理

私たちが管理している医療機器は生命維持管理装置の他に、輸液ポンプ、シリンジポンプ、フットポンプ、患者監視装置、低圧持続吸引器などの汎用的な医療機器があります。これらの機器を病院の地下にある臨床工学室で中央管理しています。

病院内には他にも血液分析装置、MRI、手術用機器など、それぞれの部署で管理されている医療機器が多くあります。そして、それぞれの部署にある機器が各部署で、適切に管理されているかを医療機器安全管理責任者として任命された臨床工学技士が確認しています。

安心安全な医療の提供

中央管理している医療機器は、患者さんごとの使用とし、使用後の機器は臨床工学技士が点検整備しています。また定期的な点検についても計画的に実施し、患者さんが安全に使用できるようにしています。そのため1ヶ月あたりの点検機器は延べ1500台程度になります。機器をいつ、誰がどこに貸し出し、返却したか、またいつ誰が点検を行ったかも医療機器管理システムを使用して機器の履歴管理を行っています。

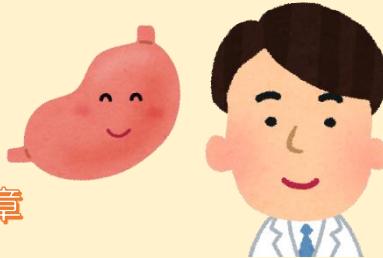
私たちは医療機器を通じて患者さんに安心安全な医療を提供しています。



臨床工学室内で
中央管理している
医療機器です。

消化器内科 再始動しました

消化器内科部長 内視鏡センター長 竹山友章



2019年7月より公立西知多総合病院に赴任した竹山友章です。平成19年度卒とまだ若輩ですが部長を仰せつかりました。東海市、知多市をはじめとした地域の消化器内科再建のために粉骨碎身する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

消化器内科

消化器内科の領域は広く、食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆道・脾臓と五臓六腑の多くを単一の診療科で担っております。それだけ患者さんも多く、必要な検査も多岐にわたっており、病院に無くてはならない診療科だと自負しております。緊急で対処する必要のあるケースも多々あり、やりがいのある仕事だと思っております。

再 始 動

それだけに400床以上の地域の中核を担う総合病院から消化器内科が消えたことは東海圏の消化器内科医師のみならず、多くの他科医師にとっても衝撃がありました。私は当時、別の病院で勤務しておりましたが半ば信じられない、という感想でした。それから西知多がどうなっていくのか、門外漢として興味深く見守っておりましたが、縁あって私が赴任することになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私が赴任するにあたり、同時に2名のスタッフが赴任し、現在では計3名で診療にあたっております。当初ほどのマンパワーは無いものの、少人数であるが故に風通しがよく、意思疎通が十分に取れた、まとまりのある素晴らしいチームになりました。

特 色

胆脾領域、消化管（食道・胃・十二指腸・小腸・大腸）領域を得意としています。肝臓以外の領域においては当院スタッフのみで最先端の診療ができる環境になっております。肝臓に関しては必要に応じて大学病院や近隣の病院にお願いすることがあることをご了承ください。

長 所

私も赴任したばかりで恐縮ですが、当院の良さについて書かせてください。それはコメディカル（看護師、技師、薬剤師、作業/理学療法師など）の質の高さだと思います。私はこの病院で 5 つ目の赴任となりましたが、他のどの大病院よりコメディカルの能力、士気ともに高いと感じております。医療は医師だけでは何もできません。コメディカルの協力あってこそその我々です。この素晴らしい環境で力いっぱい自分達の能力を発揮できるのは幸せなことです。

問題点と展望

現在のところ消化器内科医師はわずか 3 人です。士気は高く、技術面も自信はありますがどうしても手薄になる瞬間があります。不眠不休ではよい仕事はできません。患者さんにはご迷惑をおかけすることになりますが、十分な診療対応が出来ない場合には他院での診療をお願いするケースもございます。何卒ご理解のほどよろしくお願ひします。

今後は少しずつ消化器内科医を増やし、地域に貢献できる消化器内科に育っていく所存です。早速良いニュースもあります。研修医から消化器内科を目指していただける医師が出てきました。後進を育成し、より強い消化器内科を目指して邁進して参ります。末永くよろしくお願ひ申し上げます。



内視鏡センターってどんなところ



内視鏡センター看護師

Q 「内視鏡センター」ってなに？

A 内視鏡を使って、食道・胃・十二指腸・大腸の検査・治療を行うところです。

Q 「内視鏡検査」のメリットは？

A 食道・胃・十二指腸・大腸の中を直接見て診察を行い、必要な時に組織の検査が出来ます。胃がん・大腸がんは、はやく見つかる事でお腹を大きく切らずに治療が出来る場合があります。

Q 「内視鏡センター」に行けば検査してくれるの？

A 検査はすべて予約で行っています。

検査の予約には、二つの方法があります。

- ① かかりつけ医からの紹介で、消化器内科へ受診して予約をとる方法。
- ② 一般内科を受診して予約する方法。

健診後の精密検査依頼やお腹が痛くて検査を希望される場合は、②の方法になります。

当院は今年7月より常勤の消化器医師を3名迎え、内視鏡検査を安心して受けただけるようになりました。

Q 「内視鏡センター」に看護師はいるの？

A 当院の内視鏡センターでは、消化器内視鏡技師の専門資格を持った看護師が、医師とともに専門的な検査介助・治療介助を行っています。

検査前の準備・検査中の安全確保・検査後の説明など患者さんに関わること、内視鏡センターの様々な物品の管理が主な仕事です。

患者さんの不安をできるだけ少なく、リラックスして内視鏡検査、治療を受けていただけるように日々、心がけています。



内視鏡検査受付

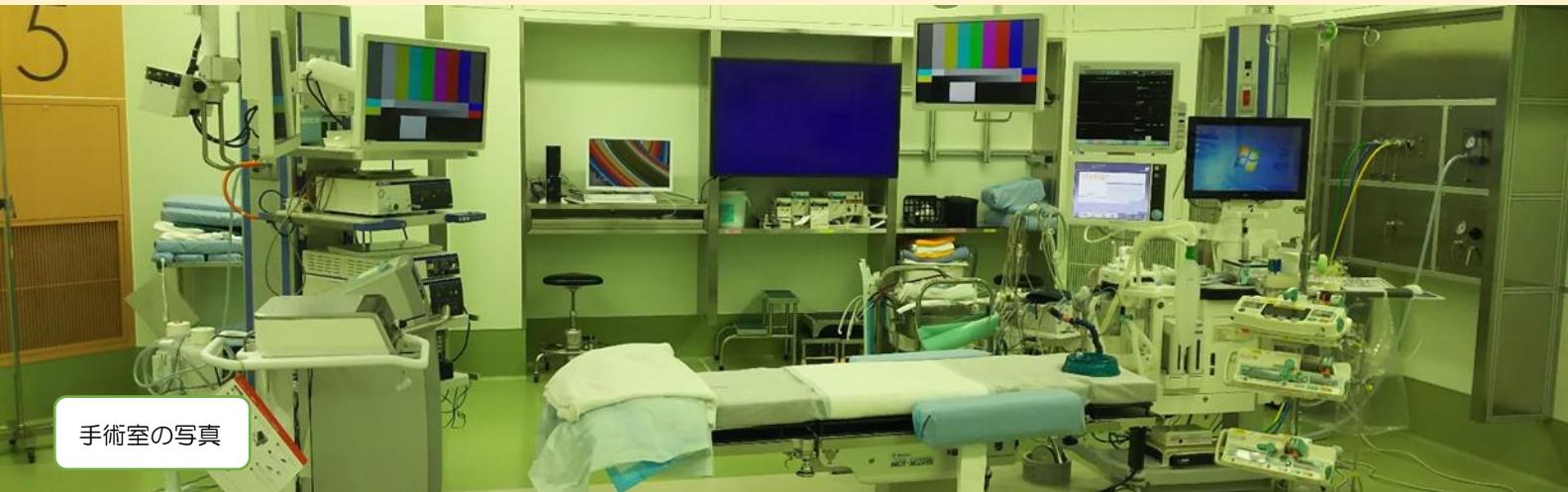


内視鏡検査室



手術看護について

手術看護認定看護師 小澤 健
手術看護認定看護師 伊藤 宜宏



手術看護相談を行っています

当院の手術センターでは、年間約3300件の手術を行っており、患者さんが安心・安全な環境で手術を受けて頂けるように、スタッフ一同で取り組んでいます。また、当手術センターには、手術看護認定看護師2名と周術期管理チーム看護師2名が在籍しており、より専門的な手術看護を提供しています。

そこで、手術を受ける患者さんやご家族の方が、手術に対して気になることや、疑問に思うことなどを相談して頂ける相談室を、毎月2回開催しています。相談には、2名の手術看護認定看護師が対応致しますので、どんな些細な事でもお気軽にご利用ください。

こんなご相談にお応えします

- ・背中から麻酔をするって聞いたけど、どういう麻酔なの？
- ・手術を受けるまでの生活で、何か気をつける事はある？
- ・前に手術をした時に、術後の痛みがつらかったから不安だなあ。。。
- ・アレルギー（卵・牛乳・ゴムなど）があるけど手術を受けて大丈夫かな？
- ・子どもが手術する予定だけど、大丈夫かな？

毎月：第1水曜日：小澤 第3木曜日：伊藤

時間：午前9時～12時

場所：1階 コンビニエンスストア前 看護相談室

※コンビニエンスストアが改修工事中のため、看護相談室は11月下旬頃まで2階の患者サロンルーム内に移動します。

また、看護相談室は病院開院日のみ開催します。



市民公開講座開催のお知らせ

◆糖尿病市民公開講座◆

とき：2019年11月9日（土）

ところ：公立西知多総合病院2階 講堂



	第1部	第2部
時間	10:00~12:00	13:00~14:20
受付	9:30~	12:30~
内容	講演	フィットネスセミナー
定員	100人（先着順、申込み不要）	40人（10/31までに申込み）
講師	島原病院糖尿病内科 吉田俊秀先生	バランスボールインストラクター 野上聖子先生
参加料	無料	
持ち物		<ul style="list-style-type: none">①汗拭きタオル②ヨガマット or バスタオル③飲み物④運動のしやすい服装
問合せ先	公立西知多総合病院 内科外来・Dフロック受付へ	



《診療等のご案内》

外来受付

8:30~11:00

（再診受付機は8:00~）

面会時間

平日 14:00~20:00

土日祝・年末年始 10:00~20:00

休診日

土曜日、日曜日、祝日

年末年始（12/29~1/3）

～基本理念～

私たちは、知多半島医療圏の北西部地域における中核病院としての使命を果たすため、次のとおり基本理念を定めます。

- 1 地域の皆さんとともに育む、心のこもったあたたかい病院を目指します。
- 2 質の高い医療を提供する、信頼される病院を目指します。
- 3 地域医療の担い手として、安心して暮らせるまちづくりに貢献します

7/18 開催 “エンカレッジ” の皆さんによる『サマーコンサート』の様子

～基本方針～

- 1 患者さんの生命と人権を尊重し、安心安全な医療を提供します。
- 2 地域の基幹病院として、救急医療と急性期医療の充実に努めます。
- 3 地域の医療機関や保健・福祉機関と連携し、地域住民の健康増進を図ります。
- 4 教育と研修により、医療技術の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- 5 職員がやりがいを持ち、安心して働くことができる環境を整えます。
- 6 健全な病院経営に努めます。



公立西知多総合病院だより 第17号

2019年10月発行 編集：広報図書委員会 発行：公立西知多総合病院